

いざみ

題字
初代理事長 竹澤 省造

第 12 号

平成31年1月

発行
社会福祉法人
福泉会
理事長 竹澤 信幸

〒910-0801
福井市寺前町 2-2-2
TEL: 0776-54-4681
FAX: 0776-54-3820

ありがとう平成!
あれから30年、あの頃みんな若かった P2

総勢100名超え!地域住民との交流会! P3

毎週水曜日はお楽しみ行事!! P5

いざという時に備えて～防火防災委員会の活動～ P6

家族介護教室 P7

苦情・相談情報公開 P8



あの頃

現在

九頭竜長生苑
中村行男様・美榮子様ご夫妻

- ①行男さん(60歳)美榮子さん(58歳)
- ②子供たちがハワイ旅行に連れて行ってくれたこと
- ③健康に気をつけなさい
- ④安仁(あん仁)



あの頃

現在

永平寺ハウス
吉田憲夫様

- ①51歳 山で土方の仕事をしていた
- ②富山の保養所へ家族で3泊旅行したこと
- ③働きに働いたなあ
- ④80歳も過ぎたら先の事よう考えられんのお



あの頃

現在

ケアハウス九頭竜
近藤静子様

- ①60歳のころ、学年会にて
- ②神明旅館に皇太子さまが来られ、見に行った事
- ③若いの~!
- ④朋成(めいせい)

利用者様

ポスト団塊世代の職員



あの頃

現在

永平寺ハウス
施設長 麻生博之

- ①31歳 九頭竜長生苑の相談員として勤務していた
- ②ケアハウス九頭竜の建替え、永平寺ハウスの増床、異動が一度に重なったこと
- ③時代を読んで辛抱せよ
- ④豊瑞(ほうすい)



あの頃

現在

福泉会
理事長 竹澤信幸

- ①埼玉県の朝霧市にある、オートバイ研究所で製品の研究・開発をしていた
- ②2人の子供が生まれた事
- ③若かったなあ、分別が無かった
- ④安久(あんきゅう)

ありがとう平成!
あれから30年
あの頃みんな若かった

さあ、平成最後の年の幕開けです。
利用者様と職員で平成という時代を
振り返ってみました。

[皆さんにお聞きしました!]

- ①当時の年齢、何をされておりましたか?
- ②30年間で一番の思い出は?
- ③30年前の自分へ一言!
- ④新元号を予想してください



あの頃

現在

永平寺ハウス
介護職 松田有未

- ①0歳 生まれたてほやほやでした。
- ②応援している舞台俳優のバースデーパーティーに行けたこと
- ③まじめに勉強してください。
- ④安泰(あんたい)



あの頃

現在

九頭竜長生苑
介護職 前田真菜美

- ①生まれた時から丸顔の赤ん坊でした。
- ②運動して体を動かすようになった。
- ③よく食べてよく寝てよく育ってね。
- ④幸成(こうせい)



あの頃

現在

九頭竜長生苑
介護職 印牧直美

- ①0歳なので...
- ②ハワイ旅行
- ③勉強のできる子になってほしかった。
- ④幸大(こうだい)

平成元年生まれの職員

軽費老人ホーム ケアハウス九頭竜

〒910-0801 福井県福井市寺前町4-14-2 TEL0776-53-3933

総勢100名超え！ 地域住民との交流会！

来て！見て！話そう！！みんなのパーティー！！



地域住民と利用者様との交流を目的として9月14日、「来て！見て！話そう！！みんなのパーティー！！」を開催しました。これまでも敬老会や祭りなど、地域の方々と触れ合う機会はありましたが、これまでの大規模なイベントは今年6年目を迎えたケアハウス九頭竜としては初の試みでした。

開場9時、来場される方々を玄関で出迎えたのは、たくさん風の風船で作られた華やかなアーチ、人型ロボットのペッパー君とコッポちゃんの可愛らしい動きに、皆さん笑顔でアーチをくぐらせていました。お食事会でのお弁当は、利用者様の食事でも利用させて頂いている地元のお料理屋さんにお願したものです。その新鮮な美味しさに舌鼓を打たれていました。その後もフルーツやケーキと続いて約1時間、「もうお腹一杯や〜。」と、大変満足して頂けたようです。

午後からは、いよいよ交流会の本番です。1階フロアへ移って頂き、新福井県民歌の合唱で開幕。その後は介護予防体操「ふく福ハッピー体操」に、利用者様によるマジックショーと目白押し。特にマジックショーは面白おかしく、そして大変驚かされました。マジックショーに出演して頂いた利用者様も、とても楽しそうに生き生きとした表情で、観客席も巻き込んでのショーでした。また、「婦人のつどい」の皆様と利用者様による民謡が披露されると、会場も一層華やかなお祭りモードに突入りし、最後はカラオケへ。

利用者様と地元住民の皆様とが触れ合えたことはもちろん、ケアハウス九頭竜がどういう施設かというところもお伝えできた一日でした。



秋の旅行は
絵付け体験！



日帰り旅行

ケアハウスを出発し、まずは北潟湖を眺めながらお食事ができる北潟湖畔荘「HANAゆらり」で昼食。その後「金津創作の森」にて絵付け体験です。

初めての方がほとんどで、時間を忘れて絵付けに集中していました。完成した作品が届くのが楽しみです☆



神社参拝

暑さも落ち着き、天気の良い日はプチ外出へ。秋の風は心地よく、絶好の参拝日和となりました☆



ゲートボール

いろんな施設が集まったのゲートボール大会。我がケアハウス九頭竜は、準優勝という快挙☆

寿司の 実演お食事会！



毎年恒例、寿司職人を招いて食実演を行いました。この寿司の食実演、ケアハウス九頭竜にはお刺身を好まれる利用者様が多く、何日も前から楽しみにされているイベントの一つです。

まず、各自のお皿には事前にお聞きしたお好みの寿司ネタ7貫が並べられます。そして、最後の一貫を職人さんに目の前で握って頂くという、とても贅沢な実演会です。職人さんが注文を聞き、寿司を握って皿に置いたたび、「お〜！」と歓声が上がするなど、目の前で繰り広げられる職人技に皆さん大変喜ばれていました。

- おむなぎ
- まぐろ
- ぶり
- たけ
- ひか
- たこ
- ゆのこ
- 甘えび
- うなぎ
- たまご
- 木巻き



介護老人福祉施設 永平寺ハウス

〒910-1223 福井県吉田郡永平寺町けやき台813-1 TEL0776-63-4373

お腹がいつぱい
になつてきても、次
から次へと流れてく
るそうめんを見る
と、またつい手が伸
びてしまつ皆さん。
流す職員もあま
りの食べつぷりに大
忙しでした。

WOW
いってまう~

いきますよ!!

流しそめん

夏の終わりの思い
出に、暑さをしのぐ
べく、永平寺ハウス
の玄関前で流しそ
めんを行いました。

次はまだ
ですがねえ...

OMG

GOOD



湯加減
いかがですか
?

あわら温泉
までドライブに行つて
きました。そこにある源
泉かけ流しの足湯コー
ナー「芦湯」に立ち寄り
ました。
足をお湯につけて温
まつてくると、皆さんほ
んわかリラックスの表
情。初めての体験した
が、緊張もすっかり緩め
られたようです。



あわら温泉へ
ドライブ



実習生のみなさま、
ありがとうございました!



老年看護を学ぶために、福井医師会か
ら計6名のナースの卵たちが1週間実習にきま
した。質問する真剣なまなざしに対応する職員
もタジタジ。さらに私たちも勉学に励まなけれ
ばいけないと思いました。10月6日に行われた
永平寺ハウス秋祭りのお手伝いにも来て下さ
いました。

看護実習生

通所介護事業所 永平寺ハウステイサービスセンター

〒910-1223 福井県吉田郡永平寺町けやき台813-1 TEL0776-63-4373



1月 ねりきり作り



2月 節分行事



3月 巻き寿司バイキング



4月 春の勝山と禅の里



12月 クリスマスビンゴ大会

月行事

毎週水曜日はお楽しみ行事!!

デイサービスでは、毎週水曜日は行事の日となっています。その月の担当職員が調理行事や外出行事など、季節に応じた行事を利用者の皆様に楽しんで頂けるものを考えています。月1回は、食事の委託業者さんによる特別メニューの日となっています。



5月 ベビーカステラとたこ焼き作り



11月 恐竜博物館



6月 ゆりフェスタ

秋の大運動会



10月 秋の大運動会



9月 お刺身バイキング



8月 本格ゲートボール大会



7月 小豆白玉かき氷作り

夏・秋の壁画



こんなにステキな作品ができました!



朝のクラブの時間帯に、利用者様にリハビリの一環として、折り紙などを使用し、季節に応じた壁画を制作して頂いています。

介護老人保健施設 九頭竜長生苑

〒910-0801 福井県福井市寺前町2-2-2 TEL0776-54-4681

いざという時に備えて

防火防災委員会の活動

当苑では月に1度、または不定期で11種類の委員会活動を行っています。その中で今回は「防火防災委員会」についてご紹介します。



9月19日(水)

消防士立ち合いのもとで防火訓練が行われました。出火想定場所は厨房。デイクエアを含めた利用者様全員が避難対象となる日中を想定した訓練です。警報機が作動すると同時に、勤務中の



消火器による初期消火訓練

看護師が出火場所を装置で確認。すぐに介護職員が火元の確認に向かいます。火元を発見後に装置前で待機している看護師に、折り返し通話機にて現状を報告し、消火避難活動を開始します。

火災報知器が消防署と連動しているため、すぐに消防署から確認の電話が入り看護師が状況の報告をします。苑内アナウンスにて避難指示の放送を行い、勤務中の職員が避難活動を開始する流れとなっております。

訓練後は消防士によるご指導をいただきました。各職員の連携を図り、迅速安全な対応を行えるよう、今後も年2回の防火訓練に取り組んでいきます。

もちろん火元の確認が出来た時点で、各職員は身近にある消火器を持ち、駆けつけて初期消火活動を行います。出火が無い事が一番です。火の用心、火の用心。



消さないで
あなたの心の
注意の火



消防士による訓練後の指導風景



避難指示アナウンス消防署逆信対応

森田花火

昨夏は残念ながら台風の影響で日程が1日ずれて月曜日の開催となりました。曇り掛かった天候でしたが、利用者様とご家族と職員はベランダに出て花火鑑賞を決定です。

間近に打ちあがる迫力満点の花火が夜空を彩り、大玉が打ちあがると大きな歓声が湧き上がり、あつという間に30分が過ぎてしまいました。



介護老人保健施設 九頭竜長生苑 デイケア

〒910-0801 福井県福井市寺前町2-2-2 TEL0776-54-4681

家族介護教室

デイケアの半日体験



9月29日(土)に第2回目の家族介護教室があり、利用者様と地域の方を招待してリハビリ体験やクッキングを行いました。

リハビリの体験では、西澤理学療法士が中心となり、筋力アップのためのマシンの体験や、足の浮腫を軽減するメドマーを体験していただきました。和気あいあいとした雰囲気での体験の間にかご自分の体の悩み相談会へと発展し、家庭でも出来る足指びー玉つかみやタオルつかみなど体験されていました。



デイケアに関心のある方は、お気軽にお問合せください！



クッキングのメニューはまんまるキッシュです。「キッシュってなあに?」と不思議そうな利用者様たちも「初めての味やわ」と言われながらも「美味しかった!」と喜んでいただけました。今回は1人必ず1回は何かしらの工程に携わって頂けるようにくじ引きで担当を決めました。
餃子の皮にひだを付けて、たこ焼き器に敷く工程では、皆さん苦戦の様子で卵液を入れるカップになるように自然と共同作業が生まれます。クッキングの後は、喫茶スペースに移動して交流会を行いました。来てくださったご家族のみならず、ありがとうございました。



まんまるキッシュ作り方

家族介護教室で好評!



ポイント

人気の料理を取り入れる際に色合いなどの見た目、コスト、高齢者向けの咀嚼しやすい食感、皆さんが食べていただけるように塩分、油分、カリウムへの配慮を栄養士さんに見てもらってレシピを作っています。

材料 [約30個]

- ☆卵3個
- ☆キャベツみじん切り150g
- ☆牛乳45ml
- ☆塩小さじ2/3
- ・餃子の皮30枚
- ・魚肉ソーセージ3本
- ・とろけるチーズ60g
- ・コーン缶40g
- ・枝豆30粒
- ・ケチャップ適量
- ・サラダ油適量

作り方

- ①☆をボウルに入れよく混ぜる
 - ②魚肉ソーセージを5mm程度のいちよう切りにする
 - ③加熱前のたこ焼き器に油をひき餃子の皮を形を整えながら敷く
 - ④カップ状になった餃子の皮に①の卵液を半分くらいずつ入れる
 - ⑤チーズとコーンをひとつまみずつ入れる
 - ⑥魚肉ソーセージ適量と枝豆を1つ入れる
 - ⑦アルミホイルで蓋をして7分加熱したら出来上がり
- ケチャップはトッピングでどうぞ!

入賞しました

入賞 福井県福井市 九頭竜長生苑 通所リハビリテーション 様



【クラフト】トレーの小物入れ・壁掛け 食品用のトレーを再利用して、水溶性ボンドでお花紙を貼り付けて乾かし、トレーを抜き取って飾りを作りました。

お花紙を使うことでこんもりと立体的な厚みが出て、手作りならではのどこが懐かしいぬくもりを感じます。はっきりとした色合いに気持ちがシャキッとしました。

やったね!



デイケアの利用者様がリハビリの一環で作った小物入れが、月刊デイ10月号の「自慢のレク・クラフト大集合」で入賞しました。審査員からの嬉しいコメントもいただきましたよ!

【苦情・相談情報公開】

福泉会では、苦情対策委員会及び第三者委員会を設置し、苦情の解決や改善に努めています。平成29年度中に各施設に寄せられた苦情発生状況は以下の通りです。

発生状況 対象期間/平成29年4月1日～平成30年3月31日

施設名	件数	苦情内容分類
ケアハウス九頭竜	6	サービスの内容(6)
九頭竜長生苑	16	サービスの内容(15) 利用料について(1)
永平寺ハウス	8	サービスの内容(6) その他(2)



●ご相談をいただいた中から一部を抜粋してご紹介します。

事例1



体調が悪くなられた利用者様を、病院に救急搬送して入院となった際に、病院側は急性期病院での高齢者の入院は数日が限度である。速やかに次の受け入れ先を家族と施設で確保するように言われた。翌日、ご家族と主治医との話し合いにより入所していた施設に戻るようになったが、後日救急搬送先の医師より受け入れ先を探してないことに対し指摘を受けた。(この時期、急変者による救急搬送、入院者も多く病院側も困惑していたと思われる。) また、消防署救急隊から今後の救急搬送において病院側の受け入れが難しくなっていることを告げられた。

対応

病院にて、救急部長・看護師長・医師・ソーシャルワーカー、当施設の理事長・統括主任が会談し、急性期病院としての現状、地域包括ケア病床との調整、施設における救急搬送の必要性、ご家族への看取りの説明等について意見交換をした。今後の対応として、お互いの状況を各々の職員へ周知し、ご家族に対しては双方の現状に対し理解を得ることとした。また今後も定期的に情報交換を行いながら、利用者様の救急搬送を受け入れていただくこととなった。

事例2



車椅子を全く自走できない人は職員が介助しているが、やっと車椅子を動かせる程度の自分には放っておかれている。もう少し職員から励ましの言葉かけがあると良いのだが。

対応

少しでも自走を容易にするため、リハビリ担当者と相談して、車椅子を軽量タイプに変更した。そのうえで、ご本人の状態を観察しながら適宜声掛けをして自走を促すことで、ご了承いただいた。

ありがとうございました

利用者様の体調が悪くなった時の対応は、当施設だけでなくご家族や地域の医療機関との連携が不可欠です。意思疎通不足、誤解等により、利用者様が不利益を被ることがないように準備していきたいと思えます。

様々なご意見をいただくことで、より良い施設づくりに取り組むことができます。



編集後記

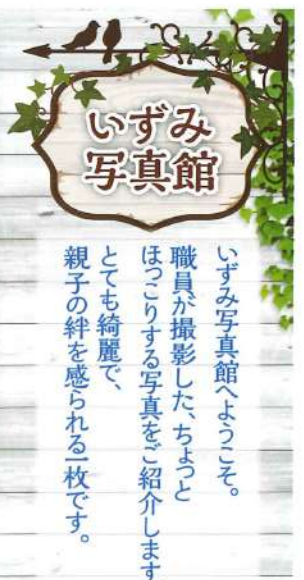
ひとつの時代が終わわり、新しい時代が始まるうとしています。皆様にとって平成の30年間はどのようなものだったでしょうか。昭和の64年という長い年月に比べれば30年なんて短いもの。それでも思い返そうとしても、思い出しきれないほどの思い出や経験があったのではないのでしょうか。

昭和初期、はたまた大正生まれの利用者様と接する私たちの仕事は、自分とは異なる時代を歩んでこられた利用者様から、古き良き時代の新しいことを教えてもらえる、とても貴重な仕事です。

介護の仕事は、世間では3Kと言われていています。ものは考えよう、「過去を知り、協力し合い、感謝する」。そんな気持ちでこの広報誌「いずみ」も読んでいただけたらと思います。今年もよろしくお願ひ致します。 山下郁美



サンセットビーチのティンカーベル



いずみ写真館へようこそ。職員が撮影した、ちよっとほっこりする写真をご紹介します。とても綺麗で、親子の絆を感られる一枚です。